

「マスク無し」で会いたい

宇治市川 市川 ゆうゆうの里で七夕飾り

宇治市白川の介護付有料老人ホーム京都ゆうゆうの里で、恒例となった笹の飾り付けが行われ、七夕ムードを演出した。

昨年からのコロナ禍で、外部から人を招いたイベントはめっきり減っているが、先月は喫茶室で抹茶や大正琴を楽しんでもらうなど、職員たちが癒しの場を提供している。

七夕が近くなった今月初めには、域内の施設数カ所に笹飾りを設置し、利用者に願った短冊を書いてもらった。コミュニティ棟では、今年の特設版として、職員が青のビニールテープを天井に渡して「天の川」を制作。川の両端には、織姫と彦星の紙人形が吊るしてあり、2人の



短冊に「来年の七夕はマスク無しで」と書いた萩森さん

出会いを思い浮かべた利用者が目を細めていた。

萩森静子さん(89)・武田禎子さん(91)は、約20年にわたり同所を利用。「コロナで大変なので、来年はマ

スク無しで会いたいです」「これだけの飾りを作っていたらいいですね」と喜んでいました。



高さ3mの笹飾りを指さす武田さん



職員が手作りした「天の川」を眺める2人